

アジア経済研究所のご紹介

◆開発途上国研究◆

調和ある貿易・投資の拡大と経済協力の促進に寄与する調査研究を実施しています

ジェトロの研究機関であるアジア経済研究所は、アジア諸国をはじめとする開発途上国・地域の経済、政治、社会に関する諸問題についての基礎的・総合的研究を行っています。これらの研究を通じて、日本の調和ある貿易・投資の拡大および開発途上国への経済協力の促進に寄与しています。

各界のニーズをふまえた研究課題を選定しています

アジア経済研究所は調査研究活動を通じて世界への知的貢献を目指すことを目標に、アジア地域等の貿易の拡大と経済協力の促進に資するための政策提言、政策提言のための分析、分析を支える基礎的・総合的研究として、毎年約50前後の基礎的・総合的な研究課題を設定して調査研究を実施しています。

調査研究活動を行うにあたっては、「開発途上国の持続的発展に関する研究」を研究の重点として、アンケート調査、懇談会などを通じ、各界からのニーズを広く取り入れて研究課題を選定しています。

具体的には、我が国とアジア諸国との間の経済面の繋がりを踏まえ、東アジア域内の経済発展に向けた調査研究に重点を置くとともに、日本の経済政策の方向を踏まえながら、近年の開発途上国・地域を巡る政策的課題や、激変する国際情勢の中で新たにクローズアップされた課題に取り組んでいます。

また、従来から行ってきた中東、中南米、アフリカ、オセアニア、東欧諸国などすべての開発途上国・地域についても網羅的に研究を行います。

研究の実施にあたっては、所内の研究者の長年にわたる研究蓄積を活用するとともに、所外の専門家の参加も得ながら研究会を発足し、現地調査や現地の研究機関との共同研究などを行います。

途上国研究ネットワークを構築し、研究交流拠点の役割を果たします

途上国研究水準の維持・向上を図るため、これまでアジア経済研究所が実施してきた途上国研究の蓄積を活かし、職員の海外派遣、海外客員研究員の招へい、国内外の大学、研究機関との連携、国際会議や海外学会への参加・発表など、様々な研究交流活動を行っています。これらの活動を通じて途上国研究ネットワークの構築と拡大を図り、開発途上国研究の交流拠点としての役割を担います。

■重点研究

1. 中国総合研究

急速な経済発展に伴い発生している様々な問題を分析するとともに、今後の経済発展、政治変動に関する展望を示していきます。

2. インド総合研究

安定した経済成長を遂げる一方、格差や貧困が深刻な問題となっているインドにおいて、経済成長の諸条件と民主主義体制に焦点を当て、分析します。

3. 東アジアにおける地域統合研究

経済統合が急速に進展し、成長が加速する一方、域内各国間及び各国内における格差も拡大することが懸念される中で、これらの問題を多角的に分析していきます。

4. 貧困削減と開発戦略研究

国際社会の共通課題である貧困削減に関して、その障害や解決のための手段の解明に取り組み、途上国及び国際社会に対するメッセージを発信します。

アジア経済研究所研究体制

